





1

陸軍省參事官	一昨夜入
熊本縣廳托學長	一昨夜
日月	投宿せり
陸軍步兵大尉	昨夜發
旅長	投宿せり
軍歩兵少尉	一昨夜
旅路へ投宿せり	一昨夜

て秋花一齊に咲亂る貴氣  
くもがなと今や菊花の盛  
小猶が戯れる秋花は唐酒  
なれば年増の奥様なる乎  
色現はる露伴々に趣あり  
色づき來り然然然の如  
も霜に染めて紅とて色

外島田に集る衆由子鶴子は  
兵衛の如しとは面無し  
政義觀に公平して懺發  
するも他に對するも同一也  
所せしむるは彼の人物を  
一過會の爲にあらざる也  
ト八幡公は會て日本に於て  
探りたることもあるなり  
母は今尚ほ韓人間に賓に請

有るは、ていに興のしく言ふ  
上に直に更送行はるべしと  
に唱へて樂み居ることも事也  
清順を走りて馬賊の群に投  
ずる暴徒終に清順に出様す  
兵居りて思ふ様に餘も出奔  
而入りしに終ぐに若かずと  
に於て日本通査暴徒に斃は  
られしとの説あり異なる乎

-274-

と交通杜絶の狀態也と云ふ  
定せられて近々發布との説  
の出版多き故に取締の爲也  
集會條例も出版條例も俱々  
於ける制度に元備せたるん  
發布か儀式好きの韓人等  
は特に憲法云々を説きあり  
撤廢期成同盟會は組織せら

藤詰の談判を試みるも可也  
 られたる氣味ありと違ふべ  
 平和會議中立問題は大分世  
 の如し前途大に花を咲せん  
 屈強也とは或は公平なる眼  
 先生の答を面白がるべし  
 厭することなかるべし正々  
 て論戦して曲直を明にせよ

監府時間の復舊  
より午後一時迄なりし統監府執務時  
十一日より舊復し午前九時登壇午後  
離どなれり

公人私人

八十三氏 陸軍省參事官 一昨夜入  
居へ投宿せり  
都警部長氏 熊本縣監託署長  
より來り三月月へ投宿せり  
輔五郎氏 陸軍歩兵大尉  
入京東海旅館へ投宿せり  
由郎氏 陸軍歩兵少尉 一昨夜清州  
入京東海旅館へ投宿せり

一、念々加りて秋花一齊に咲亂る貴麗  
 外の名はななくもがな、今や菊花の盛  
 麗れりや小貓が戯れる萩花は唐菊  
 氣高く女衣は年増の奥様なる平  
 して柑赤の色はる眞仲々に趣あり  
 亦漸次に色づき來り、煙然然ゆる如  
 山中の華草も霜に裏けて紅色とて上

威嚇する意兵遣査の如しとは面黒し  
乃公の政要觀は公年にして優優然と  
進會に對するも他に對するも同一  
酸を大開せしむるは彼人物を  
亦出で「進會の爲にあらざる  
伊公の十八番公は昔て日本に於て  
更迭の母は今尚婦人聞に

歸任の上には直に更迭行はるべしといふ。馬賊の群に將格の清領に走りて馬賊の仲間入りして、終く若かずと云ふ。元山間に於て日本通査暴徒に殺せられしとの説あり異なる乎すは倅せられしとの説あり異なる乎すは倅せられしとの説あり異なる乎す

以來次第と交通杜絶の状態也と云ふ  
 法は制定せられて近々發布との曉  
 之現時書籍の出版多量に取締の爲め  
 條例も集會條例も出版條例も併  
 々文明國に於ける制度に完備せ  
 憲法發布が儀式好きの韓人等  
 流行にカブレて憲法云々を説き  
 官権官權廢成同盟會は組織せ

公に對し膝詰の談判を試みるも可  
大分反省せられたる氣味ありと  
博士の平和會議中立問題は、大分  
喚起せる者の如し前途に花を咲  
大使の屈辱也とは或は公平なる  
るべし、第六先生の答をも面白  
都築氏獻することなかまべし、正  
際、被擧して論戰して曲直を明



-275-



